



住民意向調査速報版（檜葉町、飯舘村）の公表について

檜葉町、飯舘村の住民を対象とした住民意向調査結果を取りまとめました。

1. 調査概要

檜葉町

調査主体	復興庁、福島県、檜葉町
調査対象	世帯の代表者（3,567 世帯）
実施期間	平成 29 年 1 月 4 日～1 月 18 日
回答者数	1,916 世帯（回収率 53.7%）

飯舘村

調査主体	復興庁、福島県、飯舘村
調査対象	世帯の代表者（2,844 世帯）
実施期間	平成 29 年 1 月 4 日～1 月 18 日
回答者数	1,271 世帯（回収率 44.7%）

2. 調査結果のポイント

別紙 1～2 のとおり

本件連絡先
（原子力災害復興班）花岡、高田、徳竹
電話：03-6328-0250（直通）

檜葉町調査結果のポイント

- ・現在の居住状況や今後の居留意向、今後の生活において求める支援等の把握を目的に実施。
- ・復興庁、福島県、檜葉町の共同調査は5回目。

(1) 帰還意向（現状及び今後の住まい）

檜葉町に戻っている	17.8% (7.6%)
早期に檜葉町に戻る	11.5% (8.4%)
条件が整えば、檜葉町に戻る	23.9%(34.7%)
檜葉町には戻らない	25.2%(25.9%)
戻るかどうかについて、今はまだ判断ができない	19.8%(22.7%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(H28.1)結果

(2) 戻るかどうかについて判断できない理由（上位抜粋）

医療施設の充実度	60.9%
原子力発電所の安全性(事故収束や廃炉の状況)	56.2%
町内の治安の状況	52.8%
商業施設の再開・充実の状況	44.9%
水道水等、生活用水への安全対策	44.6%

※帰還意向で「戻るかどうかについて、今は未だ判断ができない」と回答した方のみ回答

(3) 檜葉町には戻らないと決めている理由（上位抜粋）

医療施設が十分でないから	43.6%
原子力発電所の安全性に不安が残っているから	43.6%
自宅周辺に住む人が少ないから	33.8%
水道水等の生活用水の安全性に不安があるから	32.4%
商業施設の再開が十分でないから	31.7%

※帰還意向で「檜葉町には戻らない」と回答した方のみ回答

飯舘村調査結果のポイント

- ・ 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。(記名式)
- ・ 復興庁、福島県、飯舘村の共同調査は5回目。

(1) 避難指示解除後の帰還の意向

戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)	33.5%(32.8%)
まだ判断がつかない	19.7%(24.0%)
戻らないと決めている	30.8%(31.3%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(H27.12)結果

(2) 帰還時期

解除後すぐに戻りたい	42.5%(40.5%)
解除後3年以内に戻りたい	35.2%(18.0%)
解除後5年以内に戻りたい	7.7%(4.8%)
解除後10年以内に戻りたい	7.3%(2.0%)

※避難指示解除後の帰還の意向で「戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」と回答した方のみ回答

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(H27.12)結果

(3) 帰還を判断する上で必要な情報(上位抜粋)

道路、バス、学校、病院などの社会基盤(インフラ)の復旧時期の目途	46.2%
どの程度の住民が戻るかの状況	45.4%
放射線量の低下の目途、除染成果の状況	44.2%
働く場の確保の目途	35.5%
放射線の人体への影響に関する情報	31.5%

※避難指示解除後の帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ回答

(4) 戻らないと決めている理由(上位抜粋)

避難先の方が生活利便性が高いから	51.2%
宅地・農地以外の山林や河川等の除染がまだだから	46.3%
医療環境に不安があるから	45.0%
生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから	37.9%
放射線量が低下せず不安だから	37.1%

※避難指示解除後の帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答